

PRESS RELEASE

2024 年 10 月 30 日（水）

「おぎの美術館」が 2024 年度グッドデザイン賞を受賞！！

奈良女子大学・国営平城宮跡歴史公園

平素より平城宮跡歴史公園の運営にご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

奈良女子大学生活環境学部住環境学科景観デザイン学研究室と国営平城宮跡歴史公園（平城宮跡管理センター）による「おぎの美術館」が 2024 年度グッドデザイン賞を受賞しました。

この美術館は古より生息する「オギ」群落を舞台とした、大学生による期間限定のランドスケープデザイン。多様な自然環境が残されているが訪れる機会の少ない、広大な平城宮跡の魅力をもっと広く認知してもらうとともに、平城宮跡が抱える自然環境に関する問題を解決することを目指したプロジェクトです。



写真左：カヤネズミトンネル、同中央上：朱雀門とオギ原、同中央下：オギのオブジェ、同右：みはらし台

「おぎの美術館」は、「オギ」の存在を、新しい視点から楽しむ「自然体験型」の屋外美術館。学生によるフィールドワークやリサーチから生み出した「ここにしかない」手づくりの空間を創出しました。

環境課題へのアプローチとして、外来植物セイタカアワダチソウを刈り取り、小径や広場を整備。外来植物の生息範囲を縮小させています。会場（ルート）を年によって変えていくことで、公園全体の植生を浄化していくシステムです。

この美術館は今回で3年目。小径の中には、様々な形のオギの風景を切り取るフォトフレームなどを設置しています。オギのオブジェなど新たな展示物が加わり、今までと異なった視点で植物を感じられるようになりました。特に新設の「ささらをぎ館」では、外来種と共存する多様な植物に焦点を当てた展示となっています。

ぜひ取材及び記事掲載のほどよろしくお願い致します。

添付資料：おぎの美術館 2024 チラシ

おぎの 美術館

2024

混沌と生命がひしめき合う「おぎ群落」

を目の前に、
あなたは何を感じますか。

10
WED
16

！

12
SUN
01

〔開館時間〕 10:00~17:00 頃 日没まで、少雨決行 ※休館日 11/11 (月)

〔アクセス〕

「ぐるっとバス」にて(土日祝ダイヤ 15 分間隔、平日ダイヤ 30 分間隔で運行 / 運賃 100 円)

【近鉄大和西大寺駅南口から】「朱雀門ひろば」停留所まで約 10 分

【近鉄奈良駅西口から】「朱雀門ひろば前」停留所まで約 13 分

【JR 奈良駅西口から】路線バス学園前駅行きにて「朱雀門ひろば前」停留所まで約 11 分
下車後 おぎの美術館〈本館〉まで徒歩約 5 分〈秋風館・ささらをぎ館〉まで徒歩 10 分

 おぎの美術館
The Amur Silver Grass Art Gallery



×
平城宮跡歴史公園
Nara Palace Site National Historical Park

おぎの美術館とは

奈良女子大学 生活環境学部 住環境学科 根本研究室と平城宮跡歴史公園が共同で研究を進める「平城宮跡アオハルプロジェクト」。平城宮跡歴史公園の魅力を若者をはじめとする多くの人々に発信するため、活動を行っています。

「おぎの美術館」3年目の開催となる今年は、新たな展示物に加わり、今までと異なった視点で植物を感じられるように工夫しました。特に新設の「ささらをぎ館」は、平城宮跡の自然が抱える「外来植物」と共存する多様な植物に焦点をあてた展示としました。

ここは自然と人が共存する新感覚のアート空間。自然の世界を切り取るフレームの向こうには何が見えますか？ぜひあなた自身の感覚で、平城宮跡の自然の美しさや魅力を体感してください。



This is a new kind of art space where nature and people coexist. We invite you to experience the natural beauty and charm of the Heijo Palace Site through your own senses.

美しく壮大な奈良の原風景に囲まれた
自然一体型
の屋外美術館です



おぎと外来植物

おぎなどの在来植物と外来植物が入り混じった風景が見られます。平城宮跡の自然は、今まさに転換期に直面しています。



在来植物 おぎ

ススキに比べて穂が白っぽくて長いのが特徴です。



外来植物 セイタカアワダチソウ

繁殖力が非常に強く、おぎなどの在来植物を侵略しています。



侵略

成長する美術館

会期中のおぎや大地の成長の様子を観察し、データとして収集、研究しています。

データは随時更新中！
(HP から X・Instagram を check!)



平城宮跡の自然を守るために

外来植物であるセイタカアワダチソウが繁茂するエリアを中心に順路を刈り込み、生物多様性の保全を図っています。また、カヤネズミの巣がある場所の刈取りを避けるなど、生物への影響が最小限になるよう工夫しています。

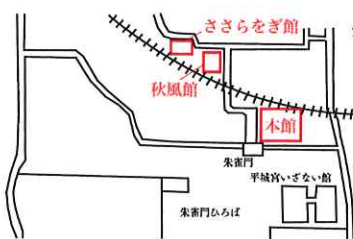
カヤネズミの巣も展示しています↑



おぎの美術館

2024 10/16 WED - 2024 12/01 SUN

※11/11(月)は休館日



【本館】
朱雀門越えてすぐ右手
(鑑賞時間目安 約15分)

【秋風館】
踏切越えてすぐ左手
(鑑賞時間目安 約5分)

【ささらをぎ館】
踏切越えて突き当たり左
(鑑賞時間目安 約10分)

【開館時間】10:00-17:00 頃 日没まで (小雨決行)

【入館料】無料

【主催】平城宮跡アオハルプロジェクト (奈良女子大学 生活環境学部 住環境学科 根本研究室・平城宮跡管理センター)

【お問い合わせ先】0742-36-8780 (平城宮跡管理センター)



※おぎ群落にはたくさんの生き物が生息しています。

ご鑑賞の際は静かに、園路以外へは立ち入らないようお願いします。

※足元が不安定な箇所がございます。

特にベビーカーや車椅子でご来館の際は十分ご注意ください。

※フレームなどの展示物にぶら下がらないでください。

イベント情報も HP から check!!

おぎの美術館



GOOD DESIGN
AWARD 2024



撮影して、SNS でシェアしてみよう！

平城宮跡

おぎの美術館

自然